

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース



発行 (財)第五福竜丸平和協会 〒136 東京都江東区 夢の島3-2 都立第五福竜丸展示館内 電話 03-521-8494

被爆者は、戦後つねに体のなかに原爆を抱え苦しんできてなければならなかった。ケロイドや傷跡はもろろんのこと、文字どおり体内にガラスの破片を持つ人も少なくない。そして、何よりも放射能の影響を受けて、つぎつぎと亡くなる被爆者のなかまをみながら明日はわが身かと原爆症の恐怖におののいてもきた。結婚、出産、就職、貧困、孤老という状況のなかでは社会的差別にも苦しんだ。あの地獄の業火に焼かれ断末魔の声をあげた肉親を助けることができなかつた負い目も一生背負わねばならなかつた。こうした苦

核兵器とたたかう人間の生き方を—— 「被爆者援護法」制定の国民的意義

田川時彦

広島・長崎での被爆後、四五周年を迎えた今年、日本被団協に結集する全国の被爆者は、生涯かけた念願の「被爆者援護法」制定を要求して、必死の運動を展開している。五年先の五〇周年運動は無理だろうといわれる程に高齢化した被爆者にとっては、ここ数年の行動は、戦後史をかけた正念場に立たされた思いである。被爆者は、戦後つねに体のなかに原爆を抱え苦しんできてなければならなかった。ケロイドや傷跡はもろろんのこと、文字どおり体内にガラスの破片を持つ人も少なくない。そして、何よりも放射能の影響を受けて、つぎつぎと亡くなる被爆者のなかまをみながら明日はわが身かと原爆症の恐怖におののいてもきた。結婚、出産、就職、貧困、孤老という状況のなかでは社会的差別にも苦しんだ。あの地獄の業火に焼かれ断末魔の声をあげた肉親を助けることができなかつた負い目も一生背負わねばならなかつた。こうした苦

は参議院ですでに三分の二を突破、衆議院でもあと十名で三分の二に達する。両院あわせると与野党含め五百三名の国会議員が署名をしている。全国各地の「援護法促進決議」も千五百に迫まっている。国民世論の支持も大きく広がり「被爆者援護法実現・みんなのネットワーク」のよびかけを中心に、署名一千万人をめざす運動が全国的に展開されている。——「援護法」は、原爆の被害を国の責任でつぐなうことにより「ふたたび被爆者をつくらない」という決意を示し、非核の証(あかし)となる法律です。援護法は、被爆者の「いのち」「くらし」を守るだけでなく、新たな核戦争被害を拒否する核時代の人権宣言にもなるものです。被爆国に生きていくわたしたちは、三十数万人のぼる被爆者の死を、けつして無にしてはなりません。被爆者の願いは被爆国民の願い、そして全人類の願いです。——原水爆禁止一九九〇年世界大会・特別決議より——
東京都原爆被害者団体協議会 事務局長



展示館の修理決まる

来年一月〜三月、期間中は休館

展示館の本格的な修理工事が行なわれることがこの程決まりました。開館以来十五年、随所に生じたきた傷みを総点検し、修復するもので、専門家の報告書を付して東京都に要請してきたことが実現します。

既に測定調査が行なわれていますが、実際の工事期間は来年一月四日から三月八日(予定)までのおよそ二ヶ月間。館内全体に足場



久保山愛吉記念碑の前で9.23第五福竜丸のつどい

を組んで、内部の梁に付着した塵埃を取り除き、断熱材の張り替え、ペンキの再塗装、屋根天井部分及び風防の雨漏り箇所の修繕、空調配管・電気系統の点検修理、二階床・階段へのシート張り等が行なわれます。展示館の裏側には専用のトイレも新設されます。工事の安全と、足場を縦横にはりめぐらし、船体・展示物もシートで覆ったり撤去するため、工事期間中は「休館」が要請されています。

焼津にて

平和と軍縮をめざす全国連絡会 北島忠晴

久保山愛吉さんがなくなられて三六年度にあたる九月二三日、弘徳院の墓前で行なわれた「誓いの集い」は、「静岡県下に船籍をもつ漁船のビキニ死の灰被災者の実態を追跡調査、究明し、被災者への救済・補償措置の必要性・在り方を考える会の設立」を呼びかけました。この中では、「戦争を知らない世代」である高知の高校生皆さんの活動に対する深い感動

ます。

九・二三第五福竜丸のつどい

九月二十三日、快晴の秋空にコスモスの花が映える展示館前広場で久保山愛吉さんを追悼していくつかの集いがありました。午前中は、東京原水協が主催した「第五福竜丸のつどい」。杉並区の魚屋さんで水爆禁止署名運動の草分けとなった菅原健一さんが事件当時の話をされ感銘を与えました。およそ百人の参加者は平和のメッセージを付けた風船を夢の島の空高く放ち決意を新たにしました。

が表明されていました。

同じ戦争を知らない世代として、あらためてビキニ事件を学び直してみよう!同じ思いの仲間四人とともに、私は、十三年ぶりに焼津を訪れました。最初に参加した献花墓参行進、および、墓前の誓いの集いは、「静岡の心」を大切にしようとする人々の努力を肌で感じる事ができました。歴史民俗資料館の福竜丸コーナーを見学したのち、福竜丸の乗組員であった見崎吉男さんのご自宅にお邪魔し、貴重なお話を聞きすることができました。見崎さんは、「ビキニ

した。新俳句人連盟の俳人たちが句作を練りつつどい、記念碑に献花し、午後からの久保山忌句会の会場に向かいました。平和と軍縮をめざす全国連絡会の青年も見学会を開いたあと、午後から来館者に記念碑への献花をよびかけたり、第五福竜丸のビデオをとともに観賞したりしました。協合理事会開く
九月二十六日、東京の学士会館で協会の第九六回理事会が開かれ①会務報告②展示館の修理・拡充に関する対都折衝③協会の運営④当面の活動計画等を審議しました。

で被災をうけてから日本へ帰るまでの約二週間の航海ほど地獄の航海をした船は、第五福竜丸をいってほかにない」と、漁労長としての筆舌に尽くせない苦労を語ってくださいました。水爆実験は、海に生きようとする人々の夢と生活を奪ったのです。お忙しい中を、一時間以上もお話を聞き、その帰路「焼津さかなセンター」の賑わいをみたとき、放射能船として、大量の魚が廃棄されていたときの光景を思い浮べずにはいられません。

平和随想 (45)

三宅 泰雄



本誌も、この号をもって第一五〇号を迎えることになりました。一口に一五〇号といっても、その背後には並々ならぬ苦勞を伴っていることは、云うまでもありません。一種の同人雑誌とはいえず、これを毎月、一号の欠号もなく発行されたことは賞賛に値します。内容的に見ても、多くの人たちの寄稿を得ていることは、あなたが自画自賛とは言えないでしょう。私も「平和随想」という題目です。すでに四十五号を載せ、賛助会員の方々からも、期待して下さっているとお言葉も頂き、多少は本誌のお役に立てばと願っています。この小誌はもっぱら、少数の読者からなっていますが、幸いにもはじめから本協会は東京都からの

援助によって支えられてきました。たびたび述べているように、「五福竜丸展示館」の建設は、当時の東京都知事美濃部亮吉先生を囲む委員会の支持によるもので、到底、自力ではなし得なかつたものです。現在でも、本協会の予算の七割方は、東京都から与えられています。

展示館は当時は(十四年前)、まだ泥だらけだった夢の島公園に設立されました。建築設計案は公募され、公募に合格した杉重彦さん等の手によって完成されたものです。公園が整備されるとともに、展示館の存在も、しだいに、世に知られるようになり、いまでは、毎月一万人をこえる人々が展示館を訪れてくれるようになりました。それは一つには、夢の島公園全体の整備が進んだことにもよります。このほかに、とくに小・中学校からの生徒の見学が激増したためです。その目的は言うまでもなく、平和教育であり、その数は年増加しています。しかも東京近郊ばかりでなく、和歌山県をはじめ、しだいに学校数は増しつづけます。平和を主張する教育の重要性が、学校の先生方の間に広が

ってきたためでしょう。また一般の平和団体からも重視され、団体による見学が増えたことにもよります。

このようなことは、展示館の重要性が、ますます大きくなったことを意味しています。最近では、青森県や、山形県をはじめ、遠くからの学校・団体からの見学者が増えています。建設当時には、展示館の存在を広く知らせるために、正月には凧上げ大会を催し、宣伝に努めたことを考えれば、まことに今昔の感にたえません(凧上げ大会は、今も続いています。来年あたりから、他の団体にもお願いしたいと思っています)。

本展示館は、もともと平和教育の普及のために建てられたものであって、政治の派閥に傾かないように努力してきましたが、この方針は、おおむね守られています。一九五四年のビキニ事件で、被害を被った船の数はたくさんあります。とくに高知県はその中でも最大であり、当時の被害船の行方を追求している団体もあります。ご承知のように「五福竜丸」は一旦、東京水産大学の練習船と

なり、名前も「はやぶさ丸」と改められました。その船が東京湾に廃棄されていたのが発見され、美濃部知事たちの手で永久保存の方策が立てられ、名前も「五福竜丸」に復帰されました。これこそ世界最初の水素爆弾の被害者の一つだったのです。その頃、アメリカでも、ソ連でも「水素爆弾」の完成を急いでいました。アメリカでは一九五四年に「水素爆弾」ができたため、急いで爆発実験を行ない、ソ連に対する優越性を見せ付けようとした。これが日本の船に被害を与えたのでした。第五福竜丸のことは、今までも幾たびも書いてきましたが、とくに、「五福竜丸たより」第一五〇号発刊を祝うために、一文を草した次第です。



第五福竜丸に集う久保山忌俳句会の十年

田中 夕霞

一九八一年九月二十三日に初めて「久保山忌俳句会」が催されました。第五福竜丸平和協会と新俳句人連盟、原爆忌東京俳句大会実行委員会が共同で準備したもので参加者四十二名、作品参加八名。実質的に第一回となったこの日の句会報には、第五福竜丸のぼろぼろに朽ちた白い船首と久保山愛吉さんの経歴・被災・病状などがのべられ、その後もくりかえし詠まれつづける遺言碑の「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」の言葉が書かれています。焼津まで秋空一枚遺言碑

望月たけし 福竜丸見てえんまこおろぎ尻もちつく 内田 梨男 船釘錆び第五福竜丸の顔つくる 鈴木 音二 かしらー右か左か雨のバツタ交む 林 逸平 毎年開催が正式にきまって、三者合同の実行委員会が運営にあたる事になりました(委員長はその時から今も徳富桑園さんです)。第三回は一九八三年の同じ日で投句四十三名、総勢七十名でした。船腹の老いに手ふれて糸すすき 伊神 洲子 赤とんぼへ同じ瞳被爆異人の子 根元 撞音 愛吉サーごめん俺達まだ原爆なく せんのヨ一 田中 夕霞 第四回目は年の死の灰に被災してから三十年目にあたる年でした。原水爆禁止の署名運動が一举に国民的規模に、世界にと大きく発展するために愛吉さんの「遺言」は大きな力になりました。投句もいれて五十八名の句会でした。ざくろ一果は彼の心音遺言の碑 石塚 真樹

九月二十三日鯊竿の先ビキニ指す 徳富 桑園 次の年は、第五福竜丸の大修理の真っ最中での久保山忌でした。この時の句会報には、いまでは欠かせなくなつたまぐろの話がでてきます。福竜丸といえはまぐろ、第二回句会するとき、焼津のまぐろをみんなで食べて当時をしのんだが、これから句会後の交流会ではまぐろを主役にしましょう。これは句会の伝統になりました。福竜丸癒えよ船釘に鳴る草の露 石川 貞夫 証し舟萎ゆな添え木の組むスクラム 鈴木 節子 「福竜丸は不死鳥のように」と題のある句会報は第六回のもので、久保山さんの三十三回忌にもあたりました。豆腐のように朽ちた船、一年二カ月の工期、かつて船をこみの海から引きあげた落合組のみなさん、多い時は七百人をこえる参観者の励ましの中で、第五福竜丸は見事に蘇生したのです。愛吉の船肌冷えてビキニの塩 樋口 素秋 被爆船に遺るももひき屋ちちろ 多田 畔人 第七回の当日は金環蝕でした。日蝕列島虫の音束ね被爆船

諸角せつ子 水玉プリズム愛吉の碑へ鬼やんま 八回、九回と句会は回を重ねました。九回からは、選句の最高得点句に、鳩のメタルが賞品として渡るようになりました。 浅野 道風 秋天へ叫びたくなるにんげん居て 早乙女文子 ダボ鯊の目で計るトマホークの寸法 土田 河石 掌に疼く福竜丸のふえし老斑 小林 道夫 愛吉現れよ核にあやふき菊りんど 本橋 愛子 久保山忌快晴梨男・夏江の字の再会 谷山 花猿 今年の九月二十三日、第十回の句会、十年前と同じく快晴の秋空が夢の島にひろがり、コスモスの花が美しく映えていました。句会が終わったの交流会、私は、愛吉サーよかったよかった 俺たち水爆なくしたぞー そんな句が書ける日がくるようにと考えたものでした。(新俳句人連盟・俳人)